

「ロータリー希望の風奨学金」
広がりを見せる活動の輪

ロータリー東日本大震災青少年支援連絡協議会	委員長	地葉 新司（潟上RC）
	副委員長	前田 茂（三次RC）
	同	川野 正久（川崎北RC）
	同	栗田 幸雄（福井北RC）
	同	近藤 雄亮（名古屋瑞穂RC）
同	同	松坂 順一（東京葛飾東RC）
	監事	桑月 心（高山RC）

2011年3月11日に発生した東日本大震災から早くも4年の月日が経過しました。この震災で両親または片方の親を亡くした約1,750人の遺児たちに奨学金（大学生、短大生、専門学校生対象）を給付する「ロータリー希望の風奨学金」プログラムは、私たちロータリー東日本大震災青少年支援連絡協議会の運営によるものですが、おかげさまで順調に推移しています。今までに皆さまから寄せられた、さまざまなご支援に対し誌面をお借りして厚くお礼申し上げます。

ここで、これまでの支援実績とこれからの支援・運営方針などをご報告いたします。

1. 「ロータリー希望の風奨学金」の概要

奨学生の条件：東日本大震災で両親もしくは片方の親を失った「遺児」で大学（短大を含む）、専門学校に学ぶ者。
奨学金の給付：入学から卒業まで毎月5万円を継続して給付し、返還を求めない。

申請から登録まで：①被災各県高等学校・遺児家族・本人から、在籍高等学校の推薦とともに申請を行う。資格審査（書類確認）の上、遺児には「奨学金給付者名簿登録済み」と「進学後に必要な手続き」を、推薦学校宛てには「給付決定の通知」と「推薦に対するお礼状」を送付する。②申請者が既に大学や専門学校に入学している場合は、被災遺児であることが確認できる書類と在学先の推薦状を添えて申請を行う。資格審査の上、前項と同様の手続きとする。

奨学金給付開始：大学・専門学校入学と同時に、在学証明書を当協議会に送付してもらい、入学を確認後、奨学金の給付を開始する。

後のフォロー：奨学生が進級するごとに在学証明書を送付してもらう。留年や停学、退学の報告を受けた時、または在学証明が更新できないときは給付を停止する。

2. 奨学生の実績と現状と今後の課題

プログラムの開始以来、2015年6月30日現在までに228人に奨学金を支給しています。この3年間で80人が卒業し、休学・退学などで給付を停止した15人を除き、復学した2人を加えて、現在は138人の奨学生が日本の各地で学んでいます（表1）。

奨学金の申請は基本的には在籍高等学校からの推薦になります。被災3県（岩手・宮城・福島）の県教育委員会を通じて各県内高校に「ロータリー希望の風奨学金」を紹介し、推薦をお願いしています。被災県によっては、福祉事務所や他の支援団体などが「ロータリー希望の風奨学金」について紹介している例もあります。しかしながら、被災遺児でありながら、この3県以外に住所を移している人には紹介されていません。大学生や高校生あるいは家族の方から、ホームページを見たと相談を寄せられることもあります。数が少ないのが実情です。支援の輪を広げるとすれば、今後の課題として考えたいと思います（表2）。

（表1）奨学金給付者の年次推移

期	期間	奨学生数
1	2011年12月～12年3月	35人
2	12年4月～12年6月	80人
3	12年7月～13年6月	143人
4	13年7月～14年6月	161人
5	14年7月～15年6月	172人

各期毎の奨学生数は、その期間に給付した実数です。給付は複数年度にわたりますので、給付者の総数は228人です
各期の期間の違いは、1期目は期末を3月末としましたが、2期目以降はロータリー年度（7/1～6/30）に変更されたためです

（表2）出身県別奨学生数（2015年6月30日現在）

岩手県	宮城県	福島県	計
97人	125人	6人	228人



3. 支援金の実績および今後支援が必要な金額

2011年11月、正式にロータリー東日本大震災青少年支援連絡協議会が発足しましたが、それまでに「ロータリー希望の風奨学金」の資金として用意された金額は、4億2,962万円でした。この時の予測では、2033年3月末を目標（震災当時0歳であった遺児が大学を卒業するまで）とするには、総額で10億円を超える資金が必要だとされました。

プログラムを開始してから、2015年6月30日までの3年8か月の間にさらに2億7,200万円の支援金が寄せられ、この期間に2億3,065万円が奨学金として使用されております。経費として年間24万円ほどを差

し引きますと、支援金は4億7,030万円が残されています。奨学金としては、今後6年間は維持できる状態です。当初の目標金額に対しては、これまでの実績を加味しても、約3億2,500万円の不足となります（表3）。

プログラム発足以前には、プログラムの運営・維持に対して、かなりの経費が必要ではないかとの推測やご意見もいただきましたが、ロータリアンの心は、その家族にも理解され、全くの手作りのプログラムとして運営されております。年度別の収支計算書を紹介しますが、「ロータリー希望の風奨学金」に関する振込手数料は千葉銀行のご支援を、また、消耗品の一部はオクトン社から提供していただいております。経費のほとんどは通信費（電話料、切手代金など）です（表4）。

（表3）プログラム開始から終了までの活動実績および予測

奨学生数は開始時の予測値に実績値を加味しました。

	'11	'12	'13	'14	'15	'16	'17	'18	'19	'20	'21	'22	'23	'24	'25	'26	'27	'28	'29	'30	'31	'32	'33
奨学生数	35人	80人	143人	161人	172人	166人	154人	136人	114人	107人	100人	100人	100人	81人	62人	49人	34人	32人	30人	28人	19人	10人	5人
	実績	実績	実績	実績	実績	予測	予測	予測	予測	予測	予測	予測	予測	予測	予測	予測	予測	予測	予測	予測	予測	予測	予測
奨学金	支給した奨学金					継続可能な残高					今後支援金を募らねばならない範囲												
	支給した金額					現在の支援金残高					今後支援金を募らねばならない金額												
	230,650,000円					470,305,286円					325,144,714円												

※運営管理費は年間約24万円程度と少額のため、ここでは表記していません

(表 4) 年度別収支計算書

(単位：円)

	1 期	2 期 (注 2)	3 期	4 期	5 期
期間	2011/11/1 ～ 2012/3/31	2012/4/1 ～ 2012/6/30	2012/7/1 ～ 2013/6/30	2013/7/1 ～ 2014/6/30	2014/7/1 ～ 2015/6/30
収入の部					
前期繰越額	—	443,810,206	452,980,931	464,741,662	468,018,593
開始時資金	429,623,551	—	—	—	—
支援金	23,096,451	21,550,765	72,676,659	79,036,990	75,688,528
雑収入	19,596	0	71,894	74,687	74,502
収入合計	452,739,598	465,360,971	525,729,484	543,853,339	543,781,623
支出の部					
1 奨学金					
奨学金	8,750,000	12,300,000	60,750,000	75,600,000	73,250,000
振込手数料 (注 1)	0	0	0	0	0
小計	8,750,000	12,300,000	60,750,000	75,600,000	73,250,000
2 経費					
設備費	13,900	0	0	0	0
通信費	59,059	56,592	187,247	191,952	200,180
手数料	630	315	0	1,680	0
消耗品費	38,823	11,163	48,475	24,564	26,157
会議費	10,500	11,970	0	2,100	0
備品費	56,480	0	0	0	0
雑費	0	0	2,100	14,450	0
小計	179,392	80,040	237,822	234,746	226,337
支出合計	8,929,392	12,380,040	60,987,822	75,834,746	73,476,337
次期繰越額	443,810,206	452,980,931	464,741,662	468,018,593	470,305,286

(注 1) 奨学金に関する振込手数料は、千葉銀行が支援 (注 2) 会計年度の規約改正による変則第 2 期

(表 5) 「ロータリー希望の風奨学金」への支援金地区別累計

(単位：円)

賛同地区および団体	2011/11	2011/12 ～ 2012/3/31	2012/4/1 ～ 2012/6/30	2012/7/1 ～ 2013/6/30	2013/7/1 ～ 2014/6/30	2014/7/1 ～ 2015/6/30	合計
D2580 (東京・沖縄)	97,039,926	12,941,451	2,596,371	4,934,608	12,081,171	11,363,863	140,957,390
D2650 (福井・滋賀・京都・奈良)	23,702,867			30,000,000	46,503,219	33,276,209	133,482,295
日台ロータリー親善会議		123,431,330		1,458,587	450,000		125,339,917
D2790 (千葉)	40,599,414	7,035,000	1,210,133	2,787,605	1,717,489	7,989,152	61,338,793
D2710 (広島・山口)	43,418,057			1,730,000	1,600,000	300,000	47,048,057
D2570 (埼玉西部)	17,651,920	1,120,000	243,000	5,378,595	8,554,968	8,612,357	41,560,840
D2760 (愛知)	29,849,696			1,394,226	300,000	4,382,098	35,926,020
D2720 (大分・熊本)	8,612,417	1,000,000	10,344,491	7,643,926	1,045,701	837,381	29,483,916
D2590 (神奈川)	23,475,539		220,000	329,000	300,000	3,273,000	27,597,539
D2630 (岐阜・三重)	17,062,612				197,013		17,259,625
D2750 (東京・北マリアナ諸島・グアム・ミクロネシア・パラオ)			4,100,000	8,046,000	991,906	417,500	13,555,406
D2540 (秋田)	3,014,581		227,610	851,819	737,593	2,168,746	7,000,349
D2820 (茨城)			3,609,160	825,022	247,424	716,376	5,397,982
D2620 (山梨・静岡)				3,147,271	506,000		3,653,271
D3340 (タイ)	1,765,192						1,765,192
D9710 (オーストラリア)				700,000			700,000
D2550 (栃木)				100,000	1,354,506	230,000	1,684,506
D2610 (石川・富山)				1,000,000		623,285	1,623,285
D2670 (香川・愛媛・徳島・高知)				1,300,000			1,300,000
D2780 (神奈川)				950,000			950,000
D2830 (青森)				100,000		120,000	220,000
D2640 (大阪南部・和歌山)					2,000,000		2,000,000
D2690 (岡山・鳥取・島根)					313,000		313,000
D2530 (福島)					112,000	112,000	224,000
D2740 (佐賀・長崎)						66,400	66,400
アメリカ・台湾・団体・個人					25,000	1,200,161	1,225,161
計	306,192,221	145,527,781	22,550,765	72,676,659	79,036,990	75,688,528	701,672,944

4. 裾野が広がる支援の輪

支援金は当初、賛同地区のロータリアンの皆さまからのご支援を地区やクラブが取りまとめてご送金いただいていましたが、この一年間を振り返りますと、クラブの創立記念や地区大会記念、東日本大震災支援をテーマとした IM の募金活動などが多く見られます。さらに、インターアクトクラブ、ローターアクトクラブやボーイスカウトの募金活動あるいはチャリティー活動としてご支援をいただくようになりました。さらに、新たに「ロータリー希望の風奨学金」を知った賛同地区以外のクラブやロータリアンの皆さまからのご支援もいただけるようになりました (表 5)。

5. 奨学生の声

大学 3 年 (女子)：皆さまのご支援のおかげで、このたび私は大学 3 年生に進級することができました。震災の後、諦めていた大学進学を夢をかなえることができたのは、皆さまのご厚意のおかげです。本当にありがとうございます。春を迎えるたびに、自分はとても恵まれているのだなあ、と実感します。(中略) 専門科目の数が増えましたし、それに加えて資格の講義も多くなりました。(中略) 日々の忙しさに負けないように、時間を大切にしながら勉強を続けたいです。皆さまが与えてくださった貴重なチャンスを無駄にしないよう、精いっぱい毎日を過ごしていこうと思います。

大学 1 年 (女子) の母親：このたびは「ロータリー希望の風奨学金」の給付を決定してくださり、本当にありがとうございます。心から感謝申し上げます。あの東日本大震災の当初の 2 年間というものは、娘も私も、身も心もボロボロで、どうやって毎日生きていこうかと日々闘いの連続でした。あれから 3 年という月日がたち、今ではやっと普通の生活が送れるようになりました。

娘が去年高校 3 年生になり、夏前ごろに「私も大学進学したい」と強く言われた時は、正直どうしようかと、とても悩んでおりましたが、このような奨学金があることを知り、また、娘も受けられるかもしれないと思うととてもうれしくて仕方ありませんでした。

このように貴重な奨学金を受けさせてもらう以上、娘にはしっかり大学で勉強してもらい、将来必ず社会や人々のお役に立てる人になってほしいと心から願っております。どうぞ、これからもよろしくお願いいたします。皆さまにもよろしくお伝えくださいませ。ありがとうございます。

大学 4 年 (女子)：私は今、幼稚園で 4 週間教育実習をさせていただいております。大変なこともあります、学び多き充実した日々を送っています。残り一週間となりますが、悔いの残らないよう精いっぱい頑張りたいと思います。このように、夢に向かって学ぶことができるのも皆さまのお力のおかげです。今年度もよろしくお願いいたします。

専門学校 2 年 (男子)：いつもお世話になっております。今年度無事に進級し、今は就職活動に頑張っております。希望する仕事に就けるように努力します。また今年度もよろしくお願いいたします。

6. ご支援くださる皆さまに

冒頭に申し上げましたように、東日本大震災の発生からはや 4 年が過ぎましたが、「ロータリー希望の風奨学金」プログラムは被災遺児やご家族にとって、教育環境支援として役立っていることは、遺児や保護者から寄せられる感謝の声が如実に物語っております。

私たちの「ロータリー希望の風奨学金」プログラムは、不幸な遺児やその保護者たちにそっと寄り添って、静かに「希望の風」を送り続ける奉仕活動です。それによって、遺児たちが社会人として立派に成長した時、真の東北の復興に役立つ人々として活動してくれるものと確信しつつ活動を続けております。

「ロータリアンは東日本大震災を決して忘れません。全ての遺児が進学の希望をかなえることを目標に、粘り強く続けていきます」とのメッセージを発するとともに、プログラム継続を約束しなければなりません。震災後、4 年が過ぎ、6 年間分の蓄えができたとは言え、残り 12 年分の資金を確保しなければなりません。このプログラムにご理解とご賛同をいただき、引き続きのご支援と、新たなご支援をお願いいたします。

(文責：第 2540 地区パストガバナー 地葉 新司)

連絡先
ロータリー東日本大震災青少年支援連絡協議会
〒104-0031 東京都中央区京橋 2-11-8 全医協連会館 1 階
国際ロータリー第 2580 地区ガバナー事務所内
Tel:03-3250-2050 Fax:03-3250-2050
E メール r.kibounokaze@wave.plala.or.jp

支援口座 (口座名義)
ロータリー東日本大震災青少年支援連絡協議会
千葉銀行 銚子支店 普通預金口座 3549340